

R5観光協会・DMO向けセミナー 講演内容(見どころ!)のご紹介



今年度のセミナーのポイント

観光地域づくりの実務者による実践事例を学ぶ！

昨年度

- ・経営戦略
- ・KGIとKPI
- ・財源確保の手法
- ・事業創造の手法
など

観光地経営の
総論としての考え方

【課題】

自分たちの地域で
どのように
実現するか

今年度

「実践編」として実際に観光地経営に携わる観光協会・DMOの実務者が講師として登壇！

どのように「観光地経営」を実践しているのか、計画立案から、財源や人材の確保、連携体制の構築、自主事業の開発など、具体的な事例を交えてお話頂きます。

質疑応答や懇親会などの場を通し、同じ観光地域づくりの実務者として、より具体的な質問・議論を交わす機会にも出来ればと考えております。

セミナー全体スケジュール

	テーマ	時間	方法	内容	獲得目標	講師	会場
第1回 12/13 (水)	小規模地域における 観光地域経営の 実践事例	90分	対面 オンライン (ハイブリッド)	・小規模地域における地域連携手法 ・組織の自立運営手法の事例	域内連携・組織運営 の事例を学び、自地 域の取組を検討する	一般社団法人 南丹市美山観光 まちづくり協会 高御堂 和華氏	沖縄県立 博物館・美術館 美術館講座室
第2回 12/13 (水)		90分	対面 オンライン (ハイブリッド)	・小規模地域における「観光まちづくり」 の取り組み事例 ・地域内調達率の高い商品造成、地域経済 の好循環創出の取組事例	「持続可能な地域づ くり」のための観光 開発事例を学ぶ		
第3回 12/20 (水)	島嶼地域における 観光地域経営の 実践事例	90分	対面 オンライン (ハイブリッド)	・既存の観光協会を構成団体とした広域的 な団体としての取組経緯・組織運営事例 ・持続可能な地域経済を作るための振興計 画や地域連携体制の構築事例	域内連携・組織運営 の事例を学び、自地 域の取組を検討する	(株)oldie-village 古村 英次郎氏 (おきのえらぶ島観光 協会初代事務局長)	沖縄県青年会館 歓会の間
第4回 12/20 (水)		90分	対面 オンライン (ハイブリッド)	・島嶼地域における観光地域づくりの事例 ・島の暮らしと観光をつなぐサステナブル ツーリズムの取組事例	「持続可能な地域づ くり」のための観光 開発事例を学ぶ		
第5回 1/16 (火)	観光マーケティング 戦略	90分	対面 オンライン (ハイブリッド)	・観光地域におけるマーケティングの考え 方 ・地域のGDPを高めるための施策 ・ツーリズムのトレンド、具体事例	消費者の思考プロセ ス、地域における GDPの考え方を理解 する	EYストラテジー・アンド・ コンサルティング 平林 知高氏	沖縄産業 支援センター 研修室中 305
第6回 1/24 (水)	広域地域における 観光地域経営の 実践事例	90分	対面 オンライン (ハイブリッド)	・複数の県・市町村にまたがる「観光圏」 としての「地域連携体制構築」事例 ・民間主導の地域連携DMOにおける自立運営 の具体事例共有	地域連携・組織運営 の事例を学び、自地 域の取組を検討する	(一般社団法人 雪国観光圏 代表理事 井口 智裕氏	沖縄県教職員 共済会館八汐荘 中会議室A
第7回 1/24 (水)		90分	対面 オンライン (ハイブリッド)	・広域での「地域ブランド」づくり事例 ・「地域ブランド」による持続可能な「稼 ぐ」観光地域づくりの事例	地域ブランドによる 連携体制の事例を学 ぶ		
第8回 2/7 (水)	沖縄観光の価値向上	90分	対面 オンライン (ハイブリッド)	・持続可能な地域社会のための観光 ・沖縄観光の価値と、その向上手法	沖縄における観光の 必要性とその価値を 高める手法を理解す る	内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 星 明彦氏	沖縄産業 支援センター 研修室小 306

第1・2回

小規模地域における 持続可能な観光地域づくり

美山町は人口約3400人の過疎地域でありながら、2021年にはUNWTO「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」として、世界44地域の1つに選出されるなど、持続可能な観光地として成果を上げています。林業中心だった美山町において、観光への町民の理解を広め、町民自らが参加する観光産業として成り立たせてきた仕組みづくりについてお話頂きます。



講師紹介



第1回 12月13日(水) 13:30~15:00

第2回 12月13日(水) 15:15~16:45

会場:沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室

一般社団法人 南丹市美山観光まちづくり協会
高御堂 和華 氏

美山町（現南丹市）生まれ。神戸大学国際文化学部卒業後、一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会に就職。18年より同協会事務局長。南丹市景観審議委員会委員、南丹市地域創生会議委員も務める。英語全国通訳案内士として、訪日外国人観光客の案内も行う。総合旅行業務取扱管理者。GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism取得

テーマ:小規模地域における観光地域経営の実践事例

第1回:小規模地域における地域連携手法組織の自立運営手法

第2回:小規模地域における「観光地域づくり」の取り組み事例

セミナー内容(仮題)

- 美山町において「観光」に取り組む意義、観光の位置づけ
- 観光協会と関係団体との連携体制づくり・合意形成の方法
- 観光地域づくりに向けた計画策定と、その実行の方法
 - DMOによる「美山町観光ビジョン 2021」の策定
- 観光協会自身の安定的な運営に向けた具体取組
 - 既存の観光関連団体と連携したDMOとしての取組経緯
- 美山町における観光地域づくりの具体取組・成果
 - サステナブルツーリズム
 - 暮らしや自然の保全と、観光の両立
 - 地域の暮らしや自然を観光に繋ぐ観光商品開発
 - 地域内調達率の高い商品造成、地域経済の好循環創出
 - 関係人口創出、住民参加

第3・4回

島嶼地域における 持続可能な観光地域づくり

おきのえらぶ島観光協会は、和泊・知名両町にあった観光協会を統合し2015年に発足。島民参加型のミーティング等を通して島の残すべき価値を見出し、振興計画「Island Plus おきのえらぶ島計画」を策定されました。

協会を中心とした地域連携の体制づくり、島の暮らしを観光に繋ぐ観光商品の開発など、観光客数が限られる離島において、最大化ではなく「最適化」を目指す持続可能な地域づくりに向けた取組について、お話頂きます。



講師紹介



第3回 12月20日(水) 13:30~15:00

第4回 12月20日(水) 15:15~16:45

会場:沖縄県青年会館 歓会の間

株式会社oldie-village

古村 英次郎 氏

(おきのえらぶ島観光協会 初代事務局長)

沖永良部島出身。国内外でのガイド業や旅行会社勤務を経てUターン。おきのえらぶ島観光協会初代事務局長を経て現在は株式会社オールディビレッジ代表取締役。

「確かな未来は懐かしき過去にある」を基本理念に観光ガイドや各種コーディネーター等を手がける。国土交通省観光庁「広域周遊観光促進のための専門家」登録を受け、与那国島観光協会の新体制移行に向けたサポートを行う他、宜野座村観光協会のアドバイザーも務める。

テーマ: 島嶼地域における観光地域経営の実践事例

第3回: 既存団体を含む広域団体としての取組経緯・組織運営事例
持続可能な地域を作るための振興計画・地域連携体制の構築事例

第4回: 島嶼地域における観光地域づくりの事例
島の暮らしと観光をつなぐサステナブルツーリズムの取組事例

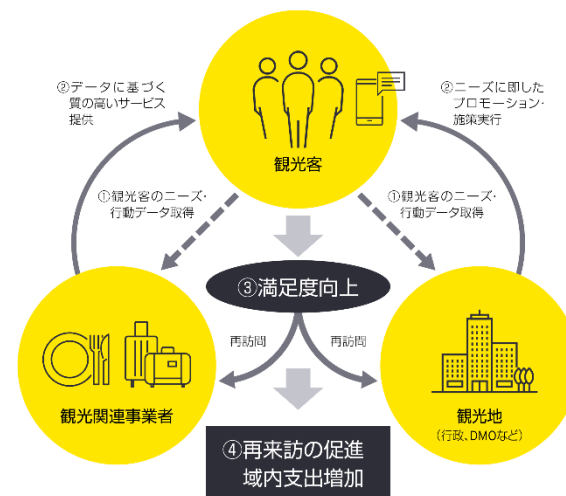
セミナー内容(仮題)

- ・ 沖永良部島において「観光」に取組む意義、観光の位置づけ
- ・ 観光協会と関係団体との連携体制づくり・合意形成の方法
- ・ 観光地域づくりに向けた計画策定と、その実行の方法
 - ・ 島民参加型のミーティングやワークショップ、行政側との合意形成など
- ・ 観光協会自身の安定的な運営に向けた具体取組
 - ・ 既存の観光協会を構成団体とした広域的な団体としての取組経緯
- ・ サステナブルツーリズム
 - ・ 島の暮らしを観光に繋ぐ観光商品開発
 - ・ 観光客数の上限と、生活が成り立つ適正価格
- ・ 関係人口創出
 - ・ サテライトオフィス、企業研修

第5回 観光地域における マーケティングの考え方

観光庁やJNTOの検討委員会など、観光関連の政策立案の支援などに取り組み、沖縄においても「データ利活用型沖縄観光振興モデル構築に向けた委員会」等に携わっておられます。

観光による地域づくりに必要なマーケティングや地域が「稼ぐ」ための考え方、地域経営に必要なデータ活用方法、世界・日本におけるツーリズムの潮流・トレンドなどについて、お話頂きます。



▶ データ利活用によりオーバーツーリズムの解消、観光客の支出増加を促すことで、住民にも恩恵を届け、地域にとって持続可能な経済社会を実現

講師紹介



第5回 1月16日(火)15:00~16:30

会場:沖縄産業支援センター 研修室中 305

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
平林 知高 氏

政府系金融機関、外資系コンサルティングファームを経て現職。近年は、観光関連の政策立案を支援するとともに、全国各地の自治体や観光関連事業者などとの連携によるデータ利活用プラットフォームサービスを自らが主導して展開する。エコシステム、プラットフォームビジネスにおける第一人者として活躍。

国土交通省 観光庁 観光DX推進のあり方に関する検討会委員、JNTO 認定外国人観光案内所の機能強化方策検討会委員。沖縄総合事務局「データ利活用型沖縄観光振興モデル構築に向けた委員会」におけるモデレーターも努めている。

セミナーテーマ:観光地域におけるマーケティング戦略

セミナー内容(仮題)

- 観光による地域づくりのために必要なマーケティングの考え方
- 地域が「稼ぐ」ことの具体的な理解
 - 観光を通じた域内GDPの創出とその構造理解・アプローチ方法
 - コントロールする・増加させる「変数」の優先順位
 - そのための「データ」の把握
 - 働きかけるべき対象の考え方(誘客ターゲット・地域事業者など)
- 地域経営におけるデータ活用の必要性・具体事例
- 世界・日本(観光庁など)におけるツーリズムのトレンド・事例 など

第6・7回

広域地域における 観光ブランド・地域づくり

雪国観光圏は、3県7市町村を圏域とする広域観光圏。雪国ならではの文化から「真白き世界に隠された知恵と出会う」というブランドコンセプトを生み出し、明確なコンセプトとターゲット設定、ニーズに応える体験の提供という一貫したブランドづくりを続けています。

近隣地域と連携するだけではない「地域独自の価値(ストーリー)」という「コンセプト」を元にした地域連携やブランドづくりの事例についてお話頂きます。



講師紹介



第6回 1月 24 日(水) 13:30~15:00

第7回 1月 24 日(水) 15:15~16:45

会場:沖縄県教職員共済会館八汐荘 中会議室A

一般社団法人 雪国観光圏
井口 智裕 氏

1973年新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ。Eastern Washington University経営学部マーケティング科卒業。旅館の4代目として家業を継ぎ、2005年「越後湯澤HATAGO井仙」をリニューアル。2008年に周辺7市町村で構成する「雪国観光圏」をプランナーとして立ち上げ、運営に尽力し、観光庁の観光産業検討会議の委員も務める。2013年一般社団法人雪国観光圏を設立し、代表理事に就任。観光品質基準、人材教育、CSR事業など広域観光圏事業を中核的に推進している。著書に『ユキマロゲ経営理論（2013年、柏艚舎）』。

セミナーテーマ: 広域地域における観光地域経営の実践事例

第6回: 複数地域に跨る「観光圏」としての「地域連携体制構築」事例

民間主導の地域連携DMOにおける自立運営の具体事例

第7回: 広域での地域ブランドづくり事例

「地域ブランド」による持続可能な「稼ぐ」観光地域づくりの事例

セミナー内容(仮題)

- 観光協会・DMOと関係団体との連携体制づくり・合意形成の方法
 - 合意形成と成果主義のジレンマ
- 観光地域づくりに向けた計画策定と、その実行の方法
 - 湯沢町から「観光圏」への構想と設立、7市町村・事業者との合意形成
 - 7市町村に共通した地域固有の「ブランドコンセプト」の策定
 - コンセプトを踏まえた顧客像の設定、ストーリーづくり
- 観光協会自身の安定的な運営に向けた具体取組
 - 既存の観光関連団体とは別の「観光圏」としての各行政との関係性
 - 雪国観光圏(DMO)と雪国観光舎(DMC)の運営・連携体制
- 雪国観光圏における観光地域づくりの具体取組・成果
 - 「雪国文化」の観光コンテンツづくり
 - 異日常の旅(雪国文化の学校、田んぼランチ、スノーピクニックなど)
- 受入環境整備・磨き上げ
 - 認証制度(宿泊施設・ガストロノミーなど)
 - 関係者への理解・参加促進(地域づくり交流会、人材研修など)

第8回 沖縄観光の価値向上

これからの地域経済を支えるためには、観光地を核とした産業の好循環が必要とされており、それには観光地の再生・高付加価値化が不可欠となっています。

観光庁においても、いくつもの役職を歴任され、地方創生や第2のふるさとづくりプロジェクトなどの施策にも携わられてきた目線から、沖縄における観光産業の価値やその向上に向けた取り組みなどについてお話を頂きます。



講師紹介



第8回 2月7日(水) 15:00~16:30

会場:沖縄産業支援センター 小会議室 306

内閣府沖縄総合事務局 運輸部長
観光庁 観光政策調整官
星明彦 氏

1972年3月、宮城県生まれ。1998年4月に運輸省(現国土交通省)入省。
在欧州連合日本政府代表部二等書記官、海上保安庁総務部政務課企画官、自動車局総務課企画室長などを歴任。2021年春に観光庁観光地域振興部観光資源課長(兼)内閣府地方創生推進事務局参事官(兼)内閣官房副長官補室/デジタル田園都市国家構想実現会議事務局参事官。2022年7月より現職。

セミナーテーマ: 沖縄観光の価値向上

セミナー内容(仮題)

- 持続可能な地域社会のための観光
- 沖縄観光の価値と、その向上方法
- 高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル地域の取り組み
(琉球の精神性と自然環境、ウェルビーイングの「沖縄・奄美エリア」)
- 観光庁における観光振興の方向性 など

セミナーの申込について

下記フォームよりお申し込みください。

<https://x.gd/hscp7>



※受講者限定で、アーカイブ配信を実施いたします。

当日の参加が難しい方も後日視聴が可能ですので是非お申し込みください。

(アーカイブ配信のみをご希望の場合も事前登録が必要です)

※同団体から複数名での申し込みも可能です。受講者ごとに入力ください。

※会場参加者が多数の場合には人数を限定し、オンライン参加とする場合がございます。

参考:各講師の取り組みについて

【各講師の取組、参考URL】

1. 一般社団法人 南丹市美山観光まちづくり協会 【[公式サイト](#)】

・京都の定番を超える？「発見」された日本の原風景・美山町の奇跡

<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/68610>

・地域に眠る宝を発掘する。観光を通じたまちづくりの応援団 ※求人用記事となります

<https://kyoto-iju.com/works/miyama>

2. 株式会社 oldie-village (おきのえらぶ島観光協会) 【[公式サイト](#)】

・沖永良部島、サステナブルツーリズムの今を聞く！(サスタビ)

<https://sustabi.com/blog/4242/>

・Blog(oldie-villag様サイト)

<https://www.oldie-village.com/blog>

参考:各講師の取り組みについて

【各講師の取組、参考URL】

3. EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 【[公式サイト](#)】

・連鎖的なイノベーションで地域の長期的価値を創出するには～沖縄発「ツーリズム×DX」

https://www.ey.com/ja_jp/integrated-report/client-interview-01

4. 一般社団法人 雪国観光圏 【[公式サイト](#)】

・広域連携でターゲットと戦略を定め、地域のファン層を拡大

<https://www.chihouseisei-hiroba.jp/case/yukiguni.html>

・雪国のエコロジの魅力の世界に伝え、インバウンド富裕層を呼び込む

<https://www.projectdesign.jp/articles/2377035f-80de-438d-8ad3-6b42431d3a0b>

参考:各講師の取り組みについて

【各講師の取組、参考URL】

5. 観光庁・沖縄総合事務局

・ウリ、ヤド、ヒト、コネに関する課題と施策の方向性について

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001466907>

・高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援等を行う

モデル観光地11地域を選定しました

～地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業～

https://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_000235.html

・観光立国推進基本計画

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/kankorikkoku/kihonkeikaku.html>

・観光庁 令和6年度予算決定概要

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/yosan/youbou.html>

参考:実務関連の学習機会について

今回のセミナーでは、デジタルマーケティングやプロモーションなど、実務に関する部分の講座内容はあまり入れておりませんが、既存のオンライン講座や資料がございますため、そちらで、補完頂ければと考えております。

例

- ・地方創生カレッジ

<https://chihouseisei-college.jp/>

- ・育人 オンラインセミナー（沖縄観光の基礎知識）

<https://okinawa-hagunchu.jp/webinar/>

- ・JNTO デジタルマーケティング ガイドライン集

<https://www.jnto.go.jp/projects/regional-support/digital.html>

- ・日本リスキリングコンソーシアム

<https://japan-reskilling-consortium.jp/>

参考：実務関連の学習機会について

講座・ガイドライン例：

・観光による地域経済循環と観光地域経営(地方創生カレッジ)

<https://chihousei-college.jp/e-learning/expert/sectoral/tourism/156.html>

・コミュニティを基盤とした観光地域づくり－住民参加と協働－(地方創生カレッジ)

<https://chihousei-college.jp/e-learning/expert/sectoral/tourism/123.html>

・効果的な情報発信のためのInstagram運用ガイドライン(JNTO)

<https://www.jnto.go.jp/projects/regional-support/JNTO InstagramGuideline 2023.pdf>

・観光地域づくり法人(DMO)による観光地域マーケティング研修(観光庁)

<https://www.youtube.com/watch?v=1CICxaqacKE>

→参考：観光地域づくり法人(DMO)による観光地域マーケティングガイドブック

https://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000171.html